

1号様式

記録者 事務局次長兼議事調査係長 高橋 美樹

教育、民生常任委員会記録

招集年月日	令和元年7月30日(火)
招集の場所	議員控室
開会	午前9時28分
出席者	委員長 福田 淑子 副委員長 柳田 政喜 委員 村松 秀雄 委員 平吹 俊雄 委員 手島 牧世 委員 藤田 洋一 委員 前原 吉宏 委員 我妻 薫
欠席者	なし
職務のため出席した者の職氏名	事務局次長兼議事調査係長 高橋 美樹
協議事項	1) 所管事務調査のまとめについて 2) 今後の進め方について
その他	
閉会	午前11時13分

2号様式 協議の経過

	開会 午前9時28分
福田委員長	<p>皆さん、おはようございます。所管事務調査は大変お疲れさまでございました。</p> <p>ただいまより、第19回教育、民生常任委員会を開きます。委員全員出席ですので、委員会は成立をいたしております。</p> <p>今日の会議事項は、所管事務調査のまとめ、それから、今後の進め方についてといたします。</p> <p>はじめに、所管事務調査のまとめを議題といたします。皆さんからの感想でいい意見が出されておりましたので、あえて抜粋して皆さんにお渡ししております。お目通しをお願いいたします。そのあとに、各委員からこのレポートに基づいた感想や意見をお聞きしたいと思います。</p> <p>暫時休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午前9時29分</p> <p>再開 午前9時36分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。</p> <p>各委員からの報告をしていただきますので、柳田副委員長からお願いいたします。</p>
柳田副委員長	<p>7月18日、19日にかけて八戸市に行ってきた、健康な身体づくり対策の研修を行った御報告をさせていただきます。皆さんのお手元のレポートのとおりでございますが、特に参考になったポイントとして5つ挙げさせていただきました。特に、1点目に関しましては年ごとにテーマを設けて活動しているという、その年ごとにはっきりした、どの部分という目標があって動いているのはすごいなと思いました。あとは、保健推進員ですとか住民を巻き込む活動、びっくりしたのは離乳食からだしを使っている部分で、小さいころからの癖のつけようなのかなと。特に東北は塩分が多いということで、やはり子供のころからそういう意味で食生活も気をつけるべきなのかなとあらためて感じさせられました。あとは、健康カレンダーですね。それと、うみねこ、はちまむなど八戸のママと読んでちまむといいますが、この辺の親しみやすいテーマを設けているのがすごくいいのかなと思いました。最終的に我が町においては健康まつりに早く取り組むべきではないかと。あとは、県を巻き込んで何とかこの減塩対策ができないのかなと。うちの町は健康福祉課がいろいろな健康の関係に対してあたってくれていますけれど、予算的な面とか考えるとやはり、動きからすると町民生活課の国保年金係ですかね。そちらのほうともタッグを組んで健康まつり、健康フェアですか。それに早急に取り組んでいただきたいなど。急にやるといってもなかなか一気には完璧な形にできないと思うので、早目に取り組んでいろんなところとタッグを組んで盛り上げていきたいなと思いました。健康カレ</p>

	<p>ンダーは予算的な事もあるのですけれど、どこまでできるか。でも、見るといいなと思います。気になったのが横の連携が市なので部制になっていますけれど、健康カレンダーに健康まつりの日程が書いてなかったので、横のつながりがどこまでできているのかなという疑問が残った点が1点ありました。以上です。</p>
村松委員	<p>私は4点について書かせていただきました。最初は健康カレンダーということで1部あたり50円くらいかなと思いますけれど、カラー刷りで内容が1年間、健康や病気に関して活用できるというものでないかと考えて、うちの町もどこまでの内容でできるか分かりませんが作成して配付をしたほうがよろしいのではないかと感じました。健康フェスタですが、毎年3千人くらい平均で来ているということで、市役所のとなりの公民館を利用して、市役所のあたりが広いということもあるのでしょうか、今までうちの町がしてきたのは、いろいろな人を呼んで講演していただいたりしていましたが、なかなか参加者が多いとはいえないね、少なかった状況もあります。そういうのもあっていつの間になくなったような感じがしますので、もう少しきちっと、広くお医者さん関係も含めて今までと違う形で実施したほうがいいのかというふうに感じました。あとは、減塩についてはだしの活用を行っているということで、うちの町も食生活改善推進員さんはいるのですけれどまだまだ表に出ていないというかね、活動をしているところをもっと見せてほしいなというふうに感じました。最後は保健推進員さんですけど、本町は健康推進員という名前の方が委嘱されております。主に健康診断の配付と回収ということをされているので、また違った、健康を推奨していくという立場の八戸市の方々でしたので、そういったような活動もやっていただきたいと考えていました。以上でございます。</p>
平吹委員	<p>感想といいますか、感じた部分ということで皆さんと同じような考えなのですが、八戸市の健康な身体づくり対策については担当職員はもとより食生活改善推進員や保健推進員が中心となって、市の健康増進計画、食育推進計画に基づき各事業に積極的に参加し、目指す姿として、すべての市民が共に支え合い健康で生きがいのある住みよいまちとして、地域、個人、家族、企業、マスメディア、行政など健康づくり体制が確立していることは本町としても研究すべきではないかと思いました。健康まつりが印象的で、各専門の方々、県や市のほうも積極的にやっていて、多くの方が集まって健康まつりを行っているのが素晴らしいと思いました。以上です。</p>
手島委員	<p>私のほうからは八戸市の事業を参考にして取り入れたい事業は4つです。健康寿命アップキャンペーンと環境・健康フェスタ、わが家の健康カレンダー、地区健康教室での普及活動などの取り組みです。それらをそのままでもなく、美里町として取り入れられるような形ができないも</p>

	<p>のかと思って考えました。本町においての健康活動の推進、促進や見直しは必要性があると感じ、健康推進員の活用、食生活改善推進員などの協力が今後一層求められるのではないかと思います。八戸市ポータルミュージアム(はっち)の周辺等も行った時にすごく感じたのですけれども、日ごろから多世代の住民が気軽に集まれるスペースが多くできていて、ふだんから行き交っているところでのお祭りの開催だったのかなということが感じとれました。そういう中で情報が得られているので、それが健康まつりの参加につながっているのかなと感じました。そういった意味でどのように住民に情報を伝達していくかとか、ただ開催しただけではなくて住民の参加というのを考えていかなければならないと考えました。交通アクセスに関して非常に、市役所周辺で駅もあるということでもいいのですが、その他にも循環バスとかイベントのバスパックとかいろいろなものを駆使して、さまざまな事を横のつながりを大事にしながらやっているというところで、住民の移動手段という意味でも八戸市のようにアクセスがいいわけではないので、私たちのほうでは交通手段も一緒に考えていかなければならないのではないかと思います。また、担当課だけではなくて各課の連携と住民の協力、各種団体の協力が非常にいい効果を出しているなと思いました。そのイベントだけではなくて、日ごろからのよい関係づくりが事業の成功につながっているということがうかがえましたので、本町も参考にして健康寿命の延伸を考えたらいいのではないかと思います。以上です。</p>
藤田委員	<p>皆さんが話されたとおりでございまして、私が一番感じたことは多くの団体の参加があって八戸市のこの事業ができているのかなということが最初に感じた部分でございます。それから、保健推進員の役割ですね。我が町は健診の届けと回収なのでその辺を改善して、やはり市と町では10倍以上の人口ですから比較にはなりませんけれど、全体的に見ると我が町に取り入れられるものは何か、ここからやはり検討すべきかなと。八戸市と同等の事をやるのは難しいと思いますので、我が町でできることから手をかけてやっていくべきかなと全体の中で感じてきましたけれども、素晴らしい取り組みをやっているということで、やはり住民が気軽に行ってみたいなと、そういう意識を持たせる啓蒙活動というのも大変大事なことだなというふうに感じてきました。まずは、できるものを取り入れながら、我々の研修してきたことを一つでもできればいいと思いながら帰ってきました。あとは、大体皆さんと同じ考えでありますし、健康が一番大事なので、そこに強く力を入れていかなければならないと感じてきた状況でございます。以上でございます。</p>
前原委員	<p>感想だけ申し上げたいと思います。健康フェスタ開催時のアンケートでは参加の9割がリピーターで、また来年も来ますよという方がいっぱいいたと、ある意味これを健康チェックの場に行っているのかなと。それ</p>

	<p>につながるのですが、健康フェスタと地区ごとの検診の相乗効果はどうですかと聞いたら特に見られないということでしたので、まあこれはそういうことなのだという個人の感想です。3番目としまして、健康づくり推進課で作成しているわが家の健康カレンダーですが、皆さんが申し上げたとおり非常に中身の濃い部分でありますので、本町においても検討すべきではないかと思いました。以上です。</p>
我妻委員	<p>健康守り隊という、健康推進員の中から代表的に選ばれて組織している。その健康守り隊の人たちがカレンダーにあったような健康づくりについての意見を出し合っている。行政が引っ張っているというよりも、継続した取り組みになっていることに学ぶところがある。そこに関連して健康カレンダーが発行されているというのを感じました。2つ目は健康フェスタの取組で、感心したのはほとんどの団体がボランティア参加で主体的にブースをつくってやっている。そういう意味では、うちのほうにどういう団体が、八戸市くらいの団体はないにしても、関係する団体が主体的になって健康づくりを推進していく取り組みができるのかなと考えさせられました。これと受診率の向上との関係はされていないようで、こちらの目的としては健康フェアが受診率の向上につながっているのだろうという思いで行ったのだけれど、そうでないということで、それはちょっと期待外れというか、でも、全体の市民にこういうのをつくっているというのはものすごく意味があるのだよね。検診には行ってないけれど、それぞれが自分の健康に関心を持つ、そういう場をつくっていく、そういうのを感じました。最後は、減塩とは具体的にどうしたらいいのか、皆さんが言ったように食生活改善推進員と保健推進員との連携、乳幼児健診で若いお母さんたちに、だしを使って減塩のためにこういうことができるのだということを実感してもらおう。例えば、これを見て、実感してもらおう場をどうつくっていくのか、その辺も学ぶところがあるなと感じておりました。</p>
福田委員長	<p>ありがとうございます。皆さんから報告をいただきました。休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午前 9時56分 再開 午前10時33分</p>
福田委員長	<p>再開いたします。 委員全員出席ですので、委員会は成立いたしております。八戸市の視察のまとめについてですけれど、大きく分けて1つは健康まつり、2つ目は減塩の対策、その中には食生活改善推進員、保健推進員の活動、健康寿命アップキャンペーンがあります。3つ目といたしましては健康カレンダーの全戸配付というふうになっております。これをまとめて次回の会議に皆さんに配付ということによろしいでしょうか。(「はい」の声あり)文章につきましては、皆さんから出されました意見を参考にさせ</p>

	<p>ていただいて作成してきますので、よろしく願いいたします。</p> <p>次に、今後の進め方についてですけれども、皆さんにお渡ししております新聞記事で、夜間の女性検診「便利」とあります。県では、乳がん集団検診の夜間実施は気仙沼市、富谷市、大河原町、村田町の4市町で行われております。子宮がん検診も同時に行うケースは女川町のみとなっております。今年5月24日午後5時～6時半に役場を会場に実施されて受診されているという事業が紹介されました。本町におきましては、子宮がん検診、年齢は20歳から69歳が対象となっております。平成28年度は37パーセント、そのうち精密検査受診者は19名、死亡者は子宮がんが原因で亡くなった方は1名、未検者数は153名となっております。平成29年度におきましては、35.5パーセント、精密検査受診者は14名、子宮がんが原因で亡くなった方は2名、未検者数は155名となっております。また、乳がんにつきまして40歳から69歳までの方が対象になっています。平成28年度は35.2パーセント、そのうち精密検査受診者は36名、乳がんが原因で亡くなった方は4名おられます。平成29年度につきましては38.1パーセント、精密検査受診者は53名、乳がんが原因で亡くなった方は1名となっております。これまでの決算審査の概要にも記載されております。美里町における子宮がん検診、乳がん検診の状況は以上となっております。そこで、健康を維持する面でもがん検診に力を入れているところですが、この夜間の女性検診については、女川町の状況について先ほどお話しいたしました。子宮がん、乳がん検診の受診率向上にむけて、本町でもぜひ取り組んでいければと思ひまして、女川町を一度視察して、その取り組み状況をお聞きしてはどうかという、皆さんに提案でございます。御意見をいただければと思ひます。いかがでしょうか。柳田副委員長。</p>
柳田副委員長	<p>意外と女性のそういう部分に関しては町の検診、高齢になるとそういう人もいると思いますが、若い時はトラブルを抱えている人は個人的に病院に行ってしまうパターンが多いのですよね。あえて、こういう部分に来なくてもいいという人が結構いると思うのです。</p>
福田委員長	<p>手島委員。</p>
手島委員	<p>逆に若い人たちのほうがそういった、少ないということで、受けないために悪化して死亡にいたるケースがあつて。</p>
柳田副委員長	<p>30歳前の二十歳くらいのことですよ。私が言っているのは60歳前の40、50歳で、そういうトラブルが出始めた人というのが自分のトラブルに合わせて検査を受けているという意味なのです。手島委員が言うことも分かるし。</p>
福田委員長	<p>だから、なおさら対象年齢になったら受ける機能が整備できれば。</p>
手島委員	<p>だから、夜間はすごくいいのかなと。受診できる時間が大きくなるというのはやはり受けやすくなると思ひます。</p>

<p>福田委員長</p>	<p>特に子宮がんが多いですね。若い人がね。一番受けにくい検診だからね。この常任委員会で減塩対策について研究テーマとしたのですけれど、健康を守るという意味でいいチャンスかなと。行かなくてもいいよという意見の方もいるかと思うのですけれど、その辺はありますか。</p> <p>それでは、女川町に視察するという事で進めていくことでよろしいでしょうか。(「はい」の声あり) そのようにしたいと思います。</p> <p>休憩いたします。</p>
	<p>休憩 午前10時46分 再開 午前11時11分</p>
<p>福田委員長</p>	<p>再開いたします。</p> <p>委員全員出席ですので、委員会は成立しております。</p> <p>女川町の視察につきましては、返事がきましたら皆さんに御連絡を差し上げたいと思います。</p> <p>今後の進め方につきましては、議会懇談会の資料も作成しなければなりません。それを受けて研究テーマのまとめもしなければならないという作業が次々と続いてあります。</p> <p>本日の協議事項は以上ですが、皆さんから何かありませんか。なければ、次回は女川町に視察に行く日を次回の会議の日程にしたいと思えますけれども、よれでよろしいでしょうか。(「異議なし」の声あり) そのように進めさせていただきます。</p> <p>以上で、教育、民生常任委員会の会議を終わります。</p> <p>副委員長、挨拶をお願いいたします。</p>
<p>柳田副委員長</p>	<p>本日はお疲れさまでございました。八戸市に研修に行きまして、皆さまの御協力のもとスムーズに進められましたこと、あらためて御礼申し上げます。とにかく暑いです。しっかりと体調を整えて、今後も御協力をよろしくをお願いいたします。本日は、御苦労さまでした。</p>
	<p>閉会 午前11時13分</p>